

2010年 9月30日

記者各位

出光興産株式会社
三井化学株式会社

千葉地区エチレン装置の統合運営の開始について

出光興産株式会社（以下、「出光」。本社：東京都千代田区、社長：中野和久）及び三井化学株式会社（以下、「三井」。本社：東京都港区、社長：田中稔一）は、昨年5月に合意した「千葉地区における生産最適化」に関し、その第1ステップとして両社のエチレン装置の運営統合を目的とした両社折半出資による有限責任事業組合（LLP）を本年4月1日に設立いたしました。

その後、具体的なエチレン装置の運営統合方法についての検討を進めてまいりましたが、本年10月1日出光及び三井からエチレン装置を譲渡し、LLPの運営を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

記

- ・ 中東及び中国を中心とした大型石化設備の新增設等により、日本の石化事業は抜本的な国際競争力の強化が必須の状況にあります。このような状況下、出光及び三井は、千葉地区における両社のエチレン装置の運営統合を目的としたLLPを本年4月1日に設立し、日本トップレベルの競争力を持つエチレンセンターの構築を目指して、具体的な運営統合方法等について検討を進めてまいりました。
- ・ 今般、運営統合の方法を決定するとともに、必要な関係官庁等の許認可を取得して、10月1日付で出光及び三井からLLPにエチレン装置を譲渡し、運営統合を開始することとなりました。
- ・ LLPにおいては、出光及び三井で誘導品の生産に使用するエチレン・プロピレン等の数量に基づき、最適な生産計画を立案・実行いたします。具体的には、最適な原料の選択、2基のエチレン装置の稼働の最適化、留分の高付加価値化等により、コストミニマムでのエチレン・プロピレン等の生産を実行してまいります。更には、LLPにおける共同合理化投資も計画しており、単独では実現できないシナジーを追求し、徹底的な競争力強化に努めてまいります。
- ・ また、エチレン装置の運営統合に留まることなく、リファイナリー等への生産最適化領域の拡大を検討し、合理化効果の最大化を図ってまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

出光興産株式会社 IR・広報室 03-3213-3115
三井化学株式会社 IR・広報部 03-6253-2100

【ご参考1：LLPの概要】

項目	内容
名称	千葉ケミカル製造有限責任事業組合
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 千葉地区におけるエチレン装置の運営の統合 エチレン、プロピレン、その他の留分の生産 上記生産品目の、組合員（出光および三井）への供給
役割と運営	<ul style="list-style-type: none"> エチレン、プロピレンを始めとした石化原料のコストミニマムを追求 生産機能を中心としたLLPで、コストセンターとしての運営が原則
所在地	東京都千代田区丸の内3-1-1（出光本社内）
出資	<ul style="list-style-type: none"> 出資金：2億円 出資比率：出光と三井が折半出資
エチレン生産能力	92万ト/年 (出光エチレン装置 37万ト、三井エチレン装置 55万ト)
職務執行者	<ul style="list-style-type: none"> 出光：西依 <small>にしより</small> 章郎 <small>あきろう</small>（出光興産 代表取締役副社長） 三井：岩淵 <small>いわぶち</small> 滋 <small>しげる</small>（三井化学 専務取締役）

【ご参考2：スキーム概要】

